

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)



2021年2月12日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 山本 正喜  
 CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO兼コーポレート本部長 (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514  
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,424	33.6	327	321.1	324	421.2	208	239.0
2019年12月期	1,815	39.4	77	—	62	—	61	—

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	5.68	5.23	12.7	14.3	13.5
2019年12月期	1.70	1.66	6.1	4.2	4.3

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	2,535	1,790	70.6	48.54
2019年12月期	2,008	1,478	73.6	40.40

(参考) 自己資本 2020年12月期 1,790百万円 2019年12月期 1,478百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	444	△192	62	1,847
2019年12月期	98	△48	870	1,531

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

2021年12月期の業績予想におきましては、競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額予想は開示しない方針とさせていただきます。なお、当期につきましても、Chatwork事業の売上高成長を引き続き最重要の経営目標としつつ、Chatwork事業の売上高で前事業年度比35%以上、全体売上高では前事業年度比30%以上の成長を目標としております。詳細は添付資料P.3「1.経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	36,880,640 株	2019年12月期	36,600,000 株
② 期末自己株式数	2020年12月期	41 株	2019年12月期	— 株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	36,650,082 株	2019年12月期	36,169,315 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 業績の状況

当事業年度において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、Webマーケティング活動の強化、既存サービス機能強化に積極的に取り組んでまいりました。

前事業年度まで、ソフトウェア開発に関わる費用に関しましては売上原価としておりましたが、当第1四半期よりソフトウェア開発に関わる費用の内、資産性がある新規開発プロジェクトについては無形固定資産として計上しております。また、今後の投資計画を踏まえた結果、繰延税金資産の取崩を行っております。この結果、当事業年度の経営成績は、売上高2,424,339千円(前事業年度比33.6%増)、営業利益327,164千円、(前事業年度比321.1%増)、経常利益324,933千円(前事業年度比421.2%増)、当期純利益208,206千円(前事業年度比239.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

#### (Chatwork事業)

Chatwork事業は、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は2,132,045千円、セグメント利益192,442千円となりました。

なお当事業が当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当事業の維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当事業における費用として計上しております。

#### (セキュリティ事業)

セキュリティ事業については、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。但し足許は在宅ワークの環境拡大の影響を受けた結果、売上高は292,293千円、セグメント利益134,721千円となりました。なお、当事業のセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatwork事業にて計上していることから、当事業の売上高より当事業に要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における資産は、前事業年度末に比べて526,084千円増加し、2,535,066千円となりました。これは主に事業拡大により現金及び預金が315,519千円増加、売掛金が51,777千円増加したことによります。また、第1四半期会計期間より計上しました無形固定資産が167,125千円増加しております。

#### (負債)

当事業年度末における負債は、前事業年度末に比べて214,335千円増加し、744,844千円となりました。これは主に事業拡大にともなって前受金が118,265千円増加、未払費用が35,626千円増加したことによります。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べて311,748千円増加し、1,790,222千円となりました。これは主に、利益剰余金が208,206千円増加、資本金が51,792千円増加、資本剰余金が51,792千円増加したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ315,519千円増加し、1,847,288千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

#### (営業キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、444,869千円の収入となりました。主な内訳は、税引前当期純利益を326,026千円計上し、前受金が118,265千円増加したことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、192,179千円の支出となりました。主な内訳は、無形固定資産の取得による支出177,854千円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、62,830千円の収入となりました。主な内訳は、株式の発行による収入63,050千円によるものです。

### (4) 今後の見通し

2021年12月期におきましては、前事業年度に引き続きChatwork事業の売上高成長率の向上を第一優先とすることが当社の企業価値向上にとって最優先であると考えております。上記の考え方にに基づき、売上高につきましては、Chatwork事業で前事業年度比35%以上、セキュリティ事業は市場環境により前事業年度比微減を想定し、全体売上高で前事業年度比30%以上の成長を目標にしております。

また、当社サービス「Chatwork」における販売体制強化、及びプラットフォーム化の展開を加速し、継続的な機能追加による「Chatwork」の付加価値向上を行い、全社としての成長を更に加速したいと考えております。なお、営業利益以下の各段階利益については競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額の予想は開示しておりません。

### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,531,768	1,847,288
売掛金	145,986	197,764
貯蔵品	7,166	6,865
前払費用	62,527	98,721
預け金	42,848	61,062
その他	88	351
流動資産合計	1,790,386	2,212,053
固定資産		
有形固定資産		
建物	63,565	50,588
減価償却累計額	△8,077	△6,688
建物(純額)	55,487	43,899
工具、器具及び備品	59,059	80,005
減価償却累計額	△37,482	△53,386
工具、器具及び備品(純額)	21,576	26,618
土地	6,991	—
有形固定資産合計	84,055	70,518
無形固定資産		
ソフトウェア	—	45,040
ソフトウェア仮勘定	—	122,085
電話加入権	69	69
無形固定資産合計	69	167,195
投資その他の資産		
投資有価証券	—	3,822
敷金及び保証金	63,756	62,518
繰延税金資産	70,714	—
破産更生債権等	716	—
長期前払費用	—	18,959
貸倒引当金	△716	—
投資その他の資産合計	134,470	85,299
固定資産合計	218,595	323,013
資産合計	2,008,982	2,535,066

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	131,923	161,740
未払費用	75,481	111,108
未払法人税等	42,036	51,772
未払消費税等	42,009	68,481
前受金	210,674	328,939
預り金	15,738	3,137
従業員預り金	12,615	19,103
その他	29	562
流動負債合計	530,508	744,844
負債合計	530,508	744,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,358,138	1,409,930
資本剰余金		
資本準備金	1,343,998	1,395,790
資本剰余金合計	1,343,998	1,395,790
利益剰余金		
利益準備金	3,535	3,535
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,227,198	△1,018,991
利益剰余金合計	△1,223,663	△1,015,456
自己株式	—	△42
株主資本合計	1,478,473	1,790,222
純資産合計	1,478,473	1,790,222
負債純資産合計	2,008,982	2,535,066

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,815,079	2,424,339
売上原価	686,548	657,000
売上総利益	1,128,530	1,767,338
販売費及び一般管理費	1,050,837	1,440,174
営業利益	77,693	327,164
営業外収益		
受取利息	6	13
施設運営収入	1,822	—
補助金収入	750	—
雑収入	72	63
営業外収益合計	2,653	77
営業外費用		
上場関連費用	8,970	—
株式交付費	7,963	177
新株予約権発行費	180	—
投資事業組合運用損	—	177
為替差損	696	1,631
雑損失	192	320
営業外費用合計	18,003	2,307
経常利益	62,343	324,933
特別利益		
固定資産売却益	1,500	1,092
特別利益合計	1,500	1,092
税引前当期純利益	63,843	326,026
法人税、住民税及び事業税	29,597	47,105
法人税等調整額	△27,176	70,714
法人税等合計	2,421	117,819
当期純利益	61,421	208,206

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	914,138	899,998	899,998	3,535	△1,288,620	△1,285,085	—	529,051	529,051
当期変動額									
新株の発行	444,000	444,000	444,000					888,000	888,000
当期純利益					61,421	61,421		61,421	61,421
自己株式の取得								—	—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									—
当期変動額合計	444,000	444,000	444,000	—	61,421	61,421	—	949,421	949,421
当期末残高	1,358,138	1,343,998	1,343,998	3,535	△1,227,198	△1,223,663	—	1,478,473	1,478,473

当事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	1,358,138	1,343,998	1,343,998	3,535	△1,227,198	△1,223,663	—	1,478,473	1,478,473
当期変動額									
新株の発行	51,792	51,792	51,792					103,584	103,584
当期純利益					208,206	208,206		208,206	208,206
自己株式の取得							△42	△42	△42
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									—
当期変動額合計	51,792	51,792	51,792	—	208,206	208,206	△42	311,748	311,748
当期末残高	1,409,930	1,395,790	1,395,790	3,535	△1,018,991	△1,015,456	△42	1,790,222	1,790,222

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	63,843	326,026
減価償却費	22,804	33,205
株式報酬費用	—	8,063
敷金および保証金償却	4,021	1,305
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	177
固定資産売却損益 (△は益)	△1,500	△1,092
受取利息	△6	△13
施設運営収入	△1,822	—
補助金収入	△750	—
株式交付費	7,963	177
新株予約券発行費	180	—
上場関連費用	8,970	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,373	△51,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	716	△716
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,897	△22,682
たな卸資産の増減額 (△は増加)	191	301
預け金の増減額 (△は増加)	△14,007	△18,213
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,335	△263
未払金の増減額 (△は減少)	△53,536	32,228
未払費用の増減額 (△は減少)	10,270	35,626
未払法人税等の増減額 (△は減少)	10,621	2,891
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,701	26,471
前受金の増減額 (△は減少)	49,252	118,265
預り金の増減額 (△は減少)	9,068	△12,600
従業員預り金の増減額 (△は減少)	2,455	6,487
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	15	532
小計	104,518	485,116
利息の受取額	6	13
施設運営収入の受取額	1,822	—
補助金収入の受取額	750	—
法人税等の支払額	△8,722	△40,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,376	444,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,797	△28,716
有形固定資産の売却による収入	15,325	18,458
無形固定資産の取得による支出	—	△177,854
投資有価証券の取得による支出	—	△4,000
差入保証金の差入による支出	△28,123	△67
差入保証金の回収による収入	6,814	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,781	△192,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	888,000	63,050
新株発行による支出	△7,963	△177
新株予約権発行による支出	△180	—
上場関連費用の支払額	△8,970	—
自己株式の取得による支出	—	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	870,885	62,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	920,480	315,519
現金及び現金同等物の期首残高	611,287	1,531,768
現金及び現金同等物の期末残高	1,531,768	1,847,288

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「Chatwork事業」と「セキュリティ事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,600,314	214,764	1,815,079	1,815,079
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,600,314	214,764	1,815,079	1,815,079
セグメント利益又は損失(△)	△19,692	97,385	77,693	77,693
その他の項目				
減価償却費	22,804	—	22,804	22,804

(注)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

当事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	Chatwork事業	セキュリティ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,132,045	292,293	2,424,339	2,424,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,132,045	292,293	2,424,339	2,424,339
セグメント利益又は損失(△)	192,442	134,721	327,164	327,164
その他の項目				
減価償却費	33,205	—	33,205	33,205

(注)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株あたり純資産額	40.40円	48.54円
1株あたり当期純利益	1.70円	5.68円
潜在株式調整後 1株あたり当期純利益	1.66円	5.23円

(注) 1. 1株あたり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (2019年12月31日)	当事業年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,478,473	1,790,222
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,478,473	1,790,222
1株あたり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	36,600,000	36,880,640

2. 1株あたり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前事業年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株あたり当期純利益		
当期純利益(千円)	61,421	208,206
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	61,421	208,206
普通株式の期中平均株式数(株)	36,169,315	36,650,082
潜在株式調整後1株あたり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	834,363	3,182,350
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整前1株あたり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第7回新株予約権(普通株式12,000株)の発行価格は公開価格のため、希薄化効果を有していません。	第7回新株予約権(普通株式12,000株)の発行価格は公開価格のため、希薄化効果を有していません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。